

全 員 協 議 会 記 録

令 和 5 年 9 月 28 日 (木)

11 時 08 分 ～ 12 時 50 分

全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

笹田議長、川神副議長
肥後議員、村木議員、大谷議員、三浦議員、沖田議員、村武議員、川上議員、
柳楽議員、串崎議員、小川議員、上野議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、
永見議員、佐々木議員、田畑議員、西田議員、牛尾議員

〔執行部〕

市長、副市長、教育長、総務部長、地域政策部長、産業経済部長、都市建設部長

〔事務局〕 局長、次長、大下書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 米軍機低空飛行訓練による騒音状況及び要望活動について (総務部)
- (2) 浜田市総合防災訓練実施日について (総務部)
- (3) 次期防災情報システムの導入について (総務部)
- (4) 南極観測船「しらせ」入港歓迎事業・同時開催イベントの報告について (総務部)
- (5) 浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について (地域政策部)
- (6) 三桜酒造跡地における公共活用検討状況について (産業経済部)
- (7) NTT 西日本社宅跡地について (都市建設部)
- (8) その他

2 陳情審査結果について

3 総務文教委員会の提言書について (報告)

- ・不登校児童生徒への支援について

4 議会改革に関する検討結果について

- ・第4回報告 議会におけるICTの活用と推進について

5 ぎかいポストに寄せられた意見等対応報告について

6 第3回はまだ市民一日議会の実施について

7 その他

- (1) 自由討議について
- (2) 議案における各自の表決結果の記載について
- (3) 政務活動費 (4月～9月分) の交付について
- (4) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[11 時 08 分 開議]

○笹田議長

ただいまから令和5年9月28日の全員協議会を始める。それでは議題に入る。

1 執行部報告事項

(1) 米軍機低空飛行訓練による騒音状況及び要望活動について

○笹田議長

総務部長

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 浜田市総合防災訓練実施日について

○笹田議長

総務部長

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

○柳楽議員

市民に対する周知を早目にやっていただくのは大変ありがたいと思う。今ここに周知方法として広報はまだやホームページなど書かれているが、ぜひ自主防災組織には個々にこのことをお知らせいただきたいと思うのだが、考えておられるか。

○総務部長

1から4の中に含んだ形になり申しわけない。当然一番協力いただくところなので声掛けをして協力をお願いしたい。

○笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(3) 次期防災情報システムの導入について

○笹田議長

総務部長

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

○布施議員

中山間地域振興特別委員会の提言に基づいて整備していただくことは非常にうれしい。次期防災システム導入効果の(2)「屋外拡声子局の音声到達能力の向上」とある。雨が降って二重サッシを閉めると拡声器の音声聞こえにくいため、各地区で新設の要望もあったと思う。新設についての考えはここに反映されてないのか。

○総務部長

基本的に今まで屋外子局を設置してきたが、まず設置したものの機能向上は考えていかななくてはいけない。今後調査もして行って、増やすべきところには増やさなければいけないだろうし、逆にあまり効率的でないところはまた考えなくてはいけない。これの設置にはかなり経費が掛かるし、ここには詳しく書いてないが例えば併せてアプリなどで情報提供もできるので、それをお願いしていこうと思う。かなり機能は上がっても、密閉した中などどうしても限界があるので、アプリとの併用、あるいは端末の問題、高齢者や要支援の方などについては、自主防災組織としっかり連携することにより伝達する形にできないか少し工夫しようと思っている。

○布施議員

中山間地域については個別受信機を持っている家が大半だが、旧市街地にも中山間地域は結構ある。特に山と山の間は子機があっても聞こえにくいということが陳情などでも結構あった。そういうのを調べてもらい、今の状態をしっかり精査してもらって、システムを生かしてほしい。

○川上委員

幸いにして浜田市はこの数年、大きな災害に見舞われてない。しかしこの異常気象において絶対に何か起きる。令和元年に申し入れて、なおかつこの計画でいくと令和8年。8年目にやっと完成する状況になっている。前倒しする必要があると思うがいかがか。

○総務部長

冒頭に申したように、かなり老朽化しているのは事実であり、特に金城と三隅は老朽化が進んでいる。今の計画ではまずそこから掛かる形だが、どの部分に子機を置くとか、あるいは電波状況を調べた上で順次変えていくとなると、最短でもこういうスケジュールでやろうと思っている。できるだけ早く掛かれるところからやるとなると、令和7年当初予算がいただければ4月になってすぐ入札を行う。大きな金額になるので議会に認めていただいて取り掛かりたい。

○川上委員

この工程が本当にクリティカルパスかどうか心配する。最短・最長どちらの工程か。

○総務部長

気持ちの上では待ったなしと思っているので、最短と思っている。これより遅れる

ようでは難しい。今も運用はできているが危ういところがあるので、できるだけ早くとは思っている。

○川上委員

既に旧浜田市内は未設置のところが多いと同時に、屋外子局も聞こえない場所がいっぱいあると思う。旧那賀郡においては古くなって電波が届かない。こういうことをこれまで何年間も見過ごしている。つまり未必の故意に近い段階だと思う。何かあったときにそういうところを突かれる可能性があるので、なるべく前倒ししてほしい。執行部はどんどん手を付けてもらいたい。

○笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(4) 南極観測船「しらせ」入港歓迎事業・同時開催イベントの報告について

○笹田議長

総務部長。

○総務部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について

○笹田議長

地域政策部長。

○地域政策部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

○川上議員

説明は分かった。確かに総合振興計画は浜田市最上位の計画であり、表面上の計画だと思う。その下には各種計画があるが、それについて評価してこの総合評価になったのか。

○地域政策部長

総合振興計画の設定した項目ごとに全てではないが、個別計画がたくさんある。当然そちらも進捗管理されており、今回報告したのはあくまで令和4年度の実績だが、当然連動しているものと認識している。

○川上議員

下位の計画について一般質問したのだが、公共施設等総合管理計画が必要という形

になっており、最終的には個別の管理計画が要ると。道路なら道路、橋なら橋、全ての管理計画が必要となっているが、それが全てできていて、なおかつこうして評価しているのか。まず、全ての管理計画ができているかどうかについて答えてほしい。

○地域政策部長

公共施設だけでなくインフラも含めてということか。

○川上議員

個別計画をしないと、将来にわたる財政の安定化を考えれば、この計画があつて初めて財政の安定であつて、財政の安定があつてこそ総合振興計画の進捗となるので、それが本当にできているかを確認した。

○総務部長

議員が今言われている総合管理計画というものがある。少し違う話になって申しわけないが、言われるとおり総合振興計画というのは市の中で最上位の計画である。前回の行革大綱を作ったときに、実はその次に行革大綱がある。それから個別計画があるという表を載せていた。今回の大綱には確か載せてなかったと思うが、位置付けはそうになっている。その個別計画にはそれぞれ行革実施計画や中期財政計画といったものがいくつか並んでいる。総合管理計画の中にはそれぞれ個別の、例えば橋梁、公園、インフラ、水道。上下水道部はアセットマネジメントで計画を作っておられると思う。橋梁や公園もそれぞれ作っている。行政財産関係で、公共施設再配置計画があるし、普通財産だと遊休資産の売却方針に基づいて売却契約を作っている。一応個別にそれぞれはあると思う。その中で進捗状況を報告していく形で、トータルでまとめたものが先ほど地域政策部長が報告したものだが、細かいものについてはそれぞれ、特に我々の管轄行革計画、再配置計画について報告させていただいている。

○川上議員

浜田市総合振興計画、確かに美しく見た目も良くできているが、そのバックとなるべき予算、今後の費用等々がどうなるかを理解した上での計画なのか。40年後までにはこれをしないと財政的に無理だ、ということは1年ごと、5年ごと、10年ごとにそこへ行き着いてないとかこういう美しいものはできてこない。なのでそれが本当に実施されながら、計画を作って管理しながら、こういう総合振興計画ができたのかどうかを聞いてみたかった。

これまで一般質問したように、公共施設再配置計画を見られたとおり、新たに行かなければいけないところが行ってない。その上でなおかつ総合振興計画についてはこのような美しいものが出てきた。それはまずいのではないかと考えて質問した。

○副市長

総合振興計画はご案内のとおり、まず10年計画を作っている。そして前期・後期がその下に付いてくる。その下の実施計画的なものは何かと言うと、財政計画をここに反映させている。したがって、総合振興計画と財政上の中期財政計画や毎年の財政計画は全て連動しているので、議員が言われたとおり、この総合振興計画を実行するためには下からの積み上げも必要なので、それは毎年示している中期財政計画や実施計

画等で、必要なものは修正等しながら達成できるような取組をしているので、連動性はあると認識している。

○川上議員

修正しながらと言われたが、目標値を決めているのにそこへ行き着かないうちに修正をし、次のときにやると先送りしているのではという不安を持っている。公共施設再配置計画もどんどん先送りになっている。先送りせずしっかりやっていただきたい。

○三浦議員

35ページの「浜田漁港周辺エリア活性化事業」の目標について。高度衛生管理型荷さばき所の整備について、22年度から25年度までの目標が100%でずっと横ばいになっているが、整備は完了していると思うので、こういった目標がどういう意図で100%横ばいになっているのか。目標設定の背景を教えてください。

○産業経済部長

高度衛生管理型荷さばき所については、まず4号荷さばき所、今年7号荷さばき所が整備された。そのそれぞれで何年度に4号、何年度に7号と。その目標が達成できたということで100%評価となっている。

○笹田議長

ここの4年間ずっと100%と出ているので、その考え方を。済んでいるのではないか。

○産業経済部長

実質今年度で終わっている。

○三浦議員

そうであれば、これは完了したということで終わり。こういった評価をするのかというところがあると思うが、漁港周辺エリアの活性化というタイトルになっていて、活性化していく目標を別の尺度で判断するなら、新しい目標をきちんと掲げて、それに対して事業を構築し、その目標に対して何%という形で報告されるのが適切ではないかと思った。表記の修正をお願いしたい。

所管委員会でスポーツ大会の参加者数について質疑をした。先ほど部長からも、累計ではなくそれぞれの年度で参加者数を表記する形に変えたいと修正の意向を伺うことができたが、福祉環境委員会、産業建設委員会の所管する事業に関しても、同じような目標設定をされている事例が多く見受けられた。累計にする意味合いがよく分からないものがすごくある。このように表で示されると右肩上がりですごく良い感じに思っているように思うが、右肩上がりに見せることの意味がほぼないものが多い。年間どのくらいの活動を維持していくかと言えば、横ばいでも良い。これくらいの割合はしっかり活動していくということがきちんと見えれば良いはずなのだが、あえて右肩上がりにするような、しかもこの表が累計なのかそうでないのかがきちんと示されておらず、累計なのか、しかし数字を見れば倍・倍・倍となっているので、これは積み重ねなのかと。そういうものが多い。大会参加人数の目標の修正はするとのことだったが、その計画に対して事業がどうだったのかということと、正確に実態把握するための表現の仕方というのは、計画の振り返りを出されるときには全体的に留意して

ほしいと思う。正確な表現方法で出されてくれば、例えば2千人目標に対して2千人強来て何%なのかと評価できる。これが累計になっていると、そういうところが分からないので、それは全体的に修正を図ったほうが、我々も状態をしっかりと見やすいと思うのだがどうか。

○地域政策部長

ご指摘の件は総務文教委員会にて話が出たが、ほかの項目、ほかの委員会の所管項目についても同じような目線で、必要なものについては修正していきたい。右肩上がりに見えるよう意図したわけではなく、もともとこれは4年間計画であり、4年間でのトータル目標を最初に設定したため、例えば4年間100人ずつであれば400人が目標と最初に設定した上で、途中年度ごとの目標を決めたので、それがたまたま累計のような形になってしまった。そういう見せ方が必要なものもあるかと思うのでそこは精査して、特にそうする必要がないものについてはおっしゃるように、維持していく形で見せるようにしていきたい。

高度衛生管理型荷さばき所の整備については、今回が最初の進捗評価だったので、一応整備ができたということで進捗評価をAと表記した。こちらについては言われるとおり終了なので、今後は終了ということで。そして今後、主要施策浜田漁港周辺エリアの活性化についての取組については、代表的な数値目標以外に各年度、主な取組と成果ということで文書で示すようにしているので、そういうところで補足できるように、状況が分かるようにしていきたい。

○笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(6) 三桜酒造跡地における公共活用検討状況について

○笹田議長

産業経済部長。

○産業経済部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

○川上議員

市民アンケートについて伺う。これは無作為抽出でアンケートを送り回答を得るとの話だったが、広報を利用してウェブでの回答も求めている。以前聞いたところ、ウェブと無作為抽出は別ものとして考えると回答をもらっていたが、どうもこれを見ると全て混ぜてある。無作為抽出は確かにアンケートとして非常に良いと思うが、ウェブは無作為ではない。それを同じに扱うのはいかがなものかと思うが。なぜ混ぜたのか。

○産業経済部長

今回のアンケートについては今は委託業者があるので、そこと統計学的に示された計算方法を基に、今回2千人に送付した。それぞれ回収率も勘案しながら配付枚数を決定した。そういう市民アンケートの結果については約600以上の回答数があったのだが、これが市民アンケートの結果と把握している。

今回、アンケートに漏れた方の意見も幅広く聴取するという事で広報等で募集したが、これについてはあくまでも参考意見として扱おうと、検討委員会でも説明させてもらった。

○川上議員

と言いながらこの中には、紙またはウェブによる回答と書いてある。「無作為に抽出し郵便配送（紙またはウェブによる回答）」とある。本当にきれいに分けてアンケート結果を載せているのか、一緒にしているのか。広報由来のアンケート結果を、無作為抽出アンケートの結果と一緒にしているのか。

○産業経済部長

2千人のアンケート結果が市民アンケートの結果である。後に載せているのはあくまで参考意見として、広報等でやる意見聴取である。2千人アンケートの結果には入っていない。

○川上議員

とは言われるが、最終的に市民等へのアンケート・ヒアリング調査結果としてまとまっている。この中にも広報を使って寄せられた意見を活用しているのか。それともあれは別ものとしているか。

○産業経済部長

議員が言われるのは20ページの結果のことだろうか。これについては2千人を対象としたアンケート結果を載せている。

○川上議員

であるならば、しっかりそのことを明記してほしい。そうしないと広報由来の意見も含めると取られる。できれば完全に分離してやっていただければ、確かにアンケート結果が分かったと言える。これでは分かりづらいので、この点は配慮願いたい。

○産業経済部長

市民アンケートの結果、ヒアリング調査結果については、2千人アンケートの結果だと明記したい。

○布施議員

三桜酒造跡地は、建物を利用してやるという話が検討委員会の一部から出たことがある。建物を利用するか、全て更地にするかといったことに言及したアンケートもあったのか。

○産業経済部長

酒蔵を残すか更地にするかという件については検討委員会で、まずは更地にして活用する方針を検討してもらおう計画をしている。アンケートについてはそういったことについては表記してない。

○布施議員

黒川地区では、一部残して利用されると信じている方が結構おられた。耐震などを言えばそうだが、更地にするとなると周辺の方が勘違いしている部分があるので、しっかり広報するべきではないか。

○産業経済部長

この件については検討委員会でも、以前の全員協議会でも話があったが、酒蔵の文化的価値の有無を調べる必要があるのではと。今検討委員会にはヘリテージマネージャーがおられ、そういったところに確認してもらった。その結果、現存する資料も少なく見ただけでは文化的価値の有無は判断できないという意見だった。地権者からもスケジュールの遅れを懸念されたため、現段階では当初の方針は変えずに更地前提で活用を検討していただくよう検討委員会でも説明している。ただし、今後検討委員会のまとめられた意見を基に市としての活用方針検討に当たっては所有者との調整もあるが、一部部材の活用や酒蔵の雰囲気を出せるように配慮することも検討する必要があると感じている。

○笹田議長

ほかに。

(「なし」という声あり)

(7) NTT西日本社宅跡地について

○笹田議長

都市建設部長。

○都市建設部長

(以下、資料を基に説明)

○笹田議長

ただいまの報告について議員から質疑はあるか。

○三浦議員

この土地の近くに先ほど報告のあった三桜酒造跡地もある。三桜酒造跡地を取得する報告が前の全員協議会であったときに、当時足立議員が質問され、中心市街地のまとまった土地なので市が取得する意向を示されたときに、今後もしもこういった同じようなエリアで買ってほしいという意向が示された際に市は買っていくのかという質疑があった。それに対し市長は、そういうわけではなく個別に判断していくと回答したというやり取りを記憶している。これは私の認識なので皆がそれぞれどう思われるか分からないが、このNTTの土地も中心市街地に入ると私は思う。駅周辺というか、あのエリアをどう整備していくかは、今回も取得の意向を示されているということなので、市長の中にビジョンがきっとあるのだと思う。それをやはり示してもらおうというか、計画があって一つ一つしていくという順序のほうが私は理解しやすい。それがどうなるか分からない中で一つ一つの土地が出てきたとき、それを取得するしないという、その土地のことだけやっていくとちぐはぐになっていくと思う。もちろんまちづ

くりは行政だけではできず、民間とも一緒にやっていくものである。行政がそこを5年後10年後どうするかというビジョンを示すことで、民間の投資も出てくるとか、そういった良い循環を生んでいくような公共投資をしていかないと、なかなかうまくいかないと思う。そういった前提で、今回のNTT跡地も一体的に何か考えておられるのか。考えているならそれをある程度のところで示してほしい。一体的ではなくここはここだということであれば、私は一体的に考えるほうが良いのではないかという意見を申し上げたい。その点はどのように考えているか。

○市長

三浦議員の言われることはもっともだと思っている。市全体、特に駅周辺を一体的にどう利用するか、本来ならそこから議論すべき。その考え方に私も賛同する。ただ、そのためには恐らく数年の期間が掛かる。具体的にどのような案件があったときに、それをきっかけに検討するのが現実的な対応かと思う。

三桜酒造から、市が使うなら優先して考えたいという話をもらったのが去年の7月頃だった。NTTの話を少なくとも私が承知したのは今年6月頃である。実際にそういう話が動いているときに、もう1回何年か掛けて全体のことをやるとなると時限性があるので、残念ながら個別に対応せざるを得ないと考える。したがって、三桜酒造跡地については地権者ができるだけ早く譲渡したい考えがあること、NTTについてはご案内のように既に解体工事が始まっている。そういう前提の中で活用をどうしなくてはいけないかということ。譲ってもらえるなら当面は駐車場として活用することを考えたいが、その後はまだ、国民スポーツ大会があるのは8年後なので、それ以降どうするかは改めて考える必要があると思っている。

○三浦議員

国体にも触れられているが、東公園エリアの慢性的な駐車場不足は利用者からも聞いているので、国体だけの話だろうかと思う。国体だけを意識して土地を取得するのが、果たして本当に良いのか。ほかにも取得する周辺の事情を把握する必要があるのではないかと思う。国体までは駐車場利用とのことだが、国体後どうするかは今後検討だと。これも重要な取得理由にもちろんなると思う。国体前より国体後のほうが長いことから、その議論をしっかりと、説明できるような理由で取得していく。まち全体の中であの周辺エリアをどうしていくか、活用方針がある程度見えてないと、単発的な理由だけで取得するのは、その前後をどうするかという疑問はどうしても残ってしまうので。先ほどの市長の答弁を聞く限り、全く考えてないわけではないと思う。そこはきっちり併せて説明してほしい。

出された資料を見ると、土地開発公社が購入するというところで終わっているが、土地開発公社のトップは副市長なので。土地開発公社が買う意向があるのかが示される文章に少し気になる点があるのだが、どうなのか。

○副市長

土地開発公社の理事長という立場から。言われるように土地開発公社で購入という文章が入っているので、理事会を開いて正式に決定したものではないし、市からも正

式に文書で要請を受けたものではない。先ほど都市建設部長が申したように、市長が最終的に向こうの社長と面談するまでは、この話は非常に難しい状況だったため、正式に決定してないということでそういう動きはしていない。ただ理事には口頭等で伝え、理解をいただきこのような対応をした。今回向こうから正式に市へ譲りたいとの方針が出たので、改めて市から正式な依頼を受け、公社は今後理事会を開き今後のスケジュール等を決めなければいけない。

○三浦議員

今後のスケジュールだが、取得の流れなどは三桜酒造跡地を取得するプロセスと大体同じになるか。今の報告では金額等も分からないが、それ金額が提示されてから買うかどうかの意向を土地開発公社がまとめる流れになるか。

○副市長

おっしゃるとおり購入に当たっては不動産鑑定を取ることになると思う。まだ公社も予算を組んでいないため、取得することに対して理事会での了解を取り、予算も組まなければいけない。三桜酒造跡地も同じやり方だった。相手方も不動産鑑定を取られる場合があるので、そうすると価格調整をして折り合いが付くかどうかで最終決定になると思う。こちらは基本は不動産鑑定、あとは税の優遇措置などの条件を提示して進めていく。

○三浦議員

さかのぼって市長の答弁に対してだが、現実的にその土地がどうされるかは生もので、そのときになってみないと分からない。先方の意向など色々な状況が変わってくるので、都度対応していかなければいけないのも分かる。ただ一方で、あの中心市街地をどうしていくかの計画を作るのは非常に重要だという認識も市長はお持ちだとのことなので、どういう方向でこの周辺整備をしていくのかはある程度ビジョンを示してもらいながら、その中で例えばそういう土地が出てきた、ならばどうしよう、となれば筋が通る。そのように考えるためにも青写真はある程度作っていく必要があると思うし、こういった土地の取得に限らず、こういう構想を持っているからこういう事業をやって、こういう投資をしていく。例えば下水道整備も、ただやるというよりも理屈が通るはず。そういう青写真を一方では描いてもらいながら。その時々事業に対してどうするか判断も重要だと思うが、それを裏付けるような下敷きをしっかり用意してもらえると、なぜ市長以下執行部でそのように考えているのかが理解しやすくなるし、事業もやりやすくなると思う。そういうことが必要だと思うのでしっかりやっていただき、政策の一貫性というか、エリア開発がどのように行われていくのか、将来像を示してほしい。それを示してもらうことでまちづくりはきっと良い方向に進むと思うので、そのような考え方で計画を検討してほしい。

○市長

先ほど申したように、三浦議員の指摘はもっともだと思う。本来駅周辺をどうするのかといったとき、これまでも駅の北側はJ T跡地を開発したり、あるいはJ Aの土地を取得して君市道路を造ったり、さらにその前には前市長時代の話だが、J Rの土

地に浜田医療センターができたり、都度イメージしながら駅周辺地域を整備してきている。私が市長になってからも駅前ロータリー整備などを行ってきた。

おっしゃるように、そもそも全体の絵から入るべきではないか。もっともだろうと思う。全体の絵を描くということも、三桜酒造跡地の話があった際に検討したが、色々な段取りを踏まないといけないので、数年の時間が掛かる。そういった中で地権者のご意向などを考えると、早急に対応を考えないといけないことから、このたび三桜酒造跡地であれN T Tであれ、今このように判断させていただいた。今後については全体的な絵は必要だろうと思っている。

先ほどの質問の中に、駐車場の問題は国民スポーツ大会までだけではないとの指摘があったが、これも実は分かっている。これまでも私が市長になり、色々な大会を誘致しようとした際に駐車場問題がネックになって見送られた経緯がある。武道館横の駐車場を2階建てにできないか、予算含めて検討したこともある。第1中学校裏の山を削って駐車場にできないかとか。いずれにせよ駐車場不足は長年の懸案だが、良い方法や予算の都合もあって着手できなかった。国民スポーツ大会までの少なくとも令和12年までを駐車場にと言っているが、そもそもあのエリアは駐車場が不足しているので、その後についてももしっかり考えていかなければいけない。あのようなスポーツ施設を活用することによって地域活性化、周辺や県外からも人に来てもらえる施設にしたいとも思っているので、駐車場問題は今後も続くと思っている。決して令和12年で終わりとは思っていない。

○川上議員

隣に県立武道館がある。それなら県が購入しても良かったのではと考えるのだが。その辺は検討の内に入らなかったか。

○副市長

おっしゃるとおりで、島根県で購入してほしいということは、正式ではないが協議した。ただ、島根県においてはそれはなかなかできないという回答だった。市が今後国民スポーツ大会等で必要な施設整備をすることについては、色々な条件はあるものの支援は可能と聞いているので、活用できるかどうかも協議して、また島根県に伺う。

○川上議員

国民スポーツ大会の主催は島根県である。浜田市ではない。その点は強く押ししてもらって、国民スポーツ大会のためにも県としてしっかり支援してほしい。浜田市は応援するのだということをしっかり言ってほしい。

○牛尾議員

心配した市民から、これほど近接地域でこれだけの土地を買って大丈夫なのかという電話が多い。私はN T T跡地の購入が間に合ったのは良かったと考えている。ただ一方で、陸上競技場の地盤沈下も十数年来の懸案事項である。すると石見小学校の建替えがあそこで良いのかということも含めて、今回この案件があったから色々するのではなくもっと広い意味、広いエリアで捉えて、市民を集めて検討委員会をするのではなくもっと高度な見解を持った方を集めて、慢性的な問題がある陸上競技場も含め

てこの一帯のレイアウト変更を検討する会をこの際立ち上げないと、なかなか市民の理解が得られにくいのではないかと。

もう一つ、近接地域のこれだけのスペースを市が買うと、逆に言えば民間活力を損なうのではないかと。民間で買ってもらえば固定資産税が結構入るといふ指摘もある。まだここは今後どうなるか分からないが、早目に市の意思を市民に示さないと。このような近くでどうするのかという話ばかりが先行して、我々も問い合わせに対してははっきりしたことが答えられない。

ちなみに私は土地開発公社の副理事長だが、おかげさまで公社は7億弱の内部留保を持っているので、この2か所を買う体力は十分ある。公社はここ数年大きな事業がないので、もし事業があればぜひ公社が入って事業をさせていただき、また内部留保を積み上げれば良いという話は絶えず理事会でやっている。したがってこういう話ありがたい、というのが副理事長としての見解である。

○市長

今はNTTも実はディスカウントストアに貸すという話が進んでいる中で、何とか待ってほしい、駐車場として活用させてほしいという提案をして、条件面の交渉がこれから始まる段階である。その後については先ほども説明したように、国民スポーツ大会までは駐車場と考えているが、ただ、NTTに譲ってもらえる土地の広さによって、全部が駐車場に必要なのかも当然考えないといけな。一部を民間に必要な施設にという話もあるが、まずはNTTに売ってもらえるかという段階なので、それが決まってから、いつ頃までどのように活用するのか、場合によっては民間譲渡も含めて、その後考えていきたい。

○笹田議長

ほかにないか。

(「なし」という声あり)

(8) その他

○笹田議長

執行部からほかに報告事項があるか。

(「なし」という声あり)

執行部は退席されるが委員からほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

2 陳情審査結果について

○笹田議長

各委員会に付託された審査結果を報告書として配付しているので確認をお願いする。

3 総務文教委員会の提言書について（報告）

○笹田議長

提言書「不登校児童生徒への支援について」、永見委員長から報告をお願いする。

○永見議員

（ 以下、資料を基に説明 ）

○笹田議長

ただいまの報告について質疑等はないか。

（ 「なし」という声あり ）

4 議会改革に関する検討結果について

○笹田議長

資料を見てほしい。議会改革推進特別委員会からこのとおり、第4回の報告として「議会におけるICTの活用と推進について」の検討結果があった。導入から5年が経過しているタブレット端末の、さらなる有効活用及び議会運営におけるICTの活用について検討し、結論を得たといことで大きく3項目ある。

（ 以下、資料を基に説明 ）

この件について確認しておきたいことはあるか。

（ 「なし」という声あり ）

5 ぎかいポストに寄せられた意見等対応報告について

○笹田議長

議会広報広聴委員会、三浦委員長。

○三浦議員

（ 以下、資料を基に説明 ）

○笹田議長

ただいまの報告について確認しておきたいことはあるか。

（ 「なし」という声あり ）

6 第3回はまだ市民一日議会の実施について

議会広報広聴委員会、三浦委員長。

○三浦議員

（ 以下、資料を基に説明 ）

○笹田議長

ただいまの報告について確認しておきたいことはあるか。

（ 「なし」という声あり ）

7 その他

(1) 自由討議について

○笹田議長

議員間で自由討議を行いたい案件があるか。あれば挙手の上、何についてか議題と、自由討議の趣旨・目的も併せて発言してほしい。

○川上議員

私がお願いしておきたいのは、既に決算については終わっているのとやかく言うわけではないが、今回の決算審査に対して一つのテーマを持っていた。それは執行率についてである。執行率は皆もご覧になったように、100%や98%となっている。これはあくまで不用額、未執行額を除いたものを基準にして100%となっている。例を挙げると133番の「看護学校学生等修学資金貸付事業」は、執行率100%であるが、実質的には不用額を外すと20.63%である。100%と見るときちんとやっているのだと考えるが、実質上は20.63%しかやってない。できない状況も色々あったと思うが、やはりこの執行率には括弧書きで、実執行率という形にしてもらえると非常に分かりやすいということを、私は皆で検討したいと思う。議長いかがだろうか。

○笹田議長

ただいま川上議員から、執行率について自由討議したいと意見があった。これについてご異議ないか。

○牛尾議員

川上議員は今回入院中だったのでテーマをお持ちなのは分かるが、我々全員がそのテーマについて共通認識を持っているわけではないので、今日たちまちその件について自由討議をと言われても難しい。皆できるなら良いが。少し時間をいただくなど、もう少し丁寧にしてもらわないと。自由討議はもっと皆が自由に意見を出して、活発にやるものだろう。あまりかしこまって言ってもらっても、一言で言えば困るのだが。

○布施議員

川上議員が言われた執行率の部分は、数字上だけでやっているやってないが出ているのだが、各委員でその委員会ごとの質疑のときにそういったことも併せながら質疑した部分もある。ただ、主要実績の中に色々なことを細目で載せる場合、これは村武議員が附帯意見のときに、実績のほうでこういったものを載せたらどうかと提案もされた。その部分であったら良いが、必要な部分は必要な部分であったら良いが、全てというのはなかなか難しい部分が出てくるのではと思う。ただ、否定するわけではないが、先ほど牛尾議員も言われたように、もう少し練って自由討議したらどうか。

○芦谷議員

この問題についてはあまた執行率について質問が出た。これも非常に範囲も分野も広い。そして予算決算委員会の中で一応認定しているので、また別のサイドで少し丁寧な提案をしてもらい、全議員が腹入れしながら議論するというところでお願いする。

○川上議員

何人かから意見が出たので、また準備して、できるときにまたさせてほしい。

○佐々木議員

今の川上議員の意見はもっともだと思った。私も今回、若者会議の件だったと思うが、当初より途中で補正予算で減額され、3分の1くらいの予算になり、それがさらに7割か8割の執行だった。当初の予算からいくと約3分の1だったと思う。この内容については議員間討議しなくても予算減額、当初から1号、2号、3号と書いて決算書に表示してあるので、いつ減額されたか分かる。当初予算から予算減額されたものが執行率いくらというのが表示されているので、それを見ながら決算委員会のときに質疑すれば良いのではないかと考えた。

○笹田議長

それでは次回、川上議員が申し上げたとおりに用意されるとのことなので、その際にもし自由討議できれば皆よろしく願います。

(2) 議案における各自の表決結果の記載について

○笹田議長

事務局長。

○下間局長

タブレットの9月定例会議の表決結果フォルダに一覧表データを入れているので、本日中に必ず記入をお願いします。賛否や反対理由はホームページに掲載することとしているので、本日中に記入をお願いします。

(3) 政務活動費（4月～9月分）の交付について

○笹田議長

事務局長。

○下間局長

政務活動費は年度終了後に交付することになっているが、4月から9月分までの政務活動費を上半期分として今の時期に交付することもできる。希望される議員は事務局までお知らせ願う。申請書等を渡す。

(4) その他

○笹田議長

議員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

最後に私から、議長会関係について報告する。

(以下、資料を基に説明)

では、これで全員協議会を終わる。

[12時 50分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 笹 田 卓